街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙

まちかど

●荏原第一地域新聞●

第168号
平成29年(2017)3月発行
発行・事務局
◎荏原第一地域センター◎
小山3-22-3（〒142-0062）
TEL　3786−2000
FAX　3786−5385

小山台保育園が自衛消防力検定に合格

大地震などの不測の事態に備え、事業所の防災力を高める「自衛消防力検定」が、1月24日に小山台保育園で行われました。

この検定は、木造住宅などが密集する荏原地区の地域特性を踏まえ、3年前から荏原消防署が独自に、事業所を対象に行っているものです。災害発生時に消火活動や避難誘導、また応急救護など、消防隊が到着する間にできる限り的確な活動を行い、現場の被害を最小限にとどめるための防災行動力の向上を目的としています。

合格証を手にした小山台保育園園長と先生たち

今年で3回目の受験となる小山台保育園は、昨年に続き上級の検定に臨みました。試験は実技と筆記が実施され、荏原消防署職員が検定者となり、次の内容で行われました。

◆【実技試験】

①地震発生（各自身の安全を図る）、②安全確認（揺れが収まってから周囲の確認）、③情報共有（園の放送設備を使用して園内に的確な情報伝達）、④避難路確保（適切な避難経路の確保）、⑤火災発生（消火器で初期消火と119番通報）、⑥避難誘導（園児たちを園庭に避難誘導）、⑦応急救護（包帯を使用したケガの処置）、⑧消防隊への情報提供（消防隊が到着した際に要点を適切に伝達）。

◆【筆記試験】

火災発生や119番通報時の行動、消火器の取扱い、応急救護についてなど択一方式。

小山台保育園では、検定前に訓練を重ねた成果もあり、当日の試験では「大きな声が出ていて指示が適切だった」など、高い評価を受けました。

一方で「例えば調理室で火災が発生した場合には、通報の際に『調理室から出火しました』ではなく、『1階調理室から出火しました』というように、何階のどこから発災しているかというところまで詳細を伝えることが重要」というアドバイスも受けました。

検定試験に臨んだ新人保育士は「実際の検定では緊張しましたが、毎年練習を積んでいったら、いざという時に動けると思います」と話していました。

小山台保育園は今年も上級の検定に合格し、後日、荏原消防署の舘憲一課長から合格証が手渡されました。

小山台保育園・栗原睦美園長は「園児対象の訓練は毎月行っていますが、これまで災害時に保育士がどのように動くべきかが具体化されていなかったので、この検定でそこが強化されたと思います。また、消防署の方が実際に指導してくれるので、火災報知器の操作や周囲への連絡方法など、的確な対応の仕方を経験できる点も良いと思います」と話していました。

荏原消防署では、こうした自衛消防力検定を継続して受験することで、災害発生時の緊迫した状況においても、迅速かつ確実に対応できるものと考えています。特に、自身の力ではなかなか避難できない方が多い施設では、自衛消防力を身に付けた現場の人間が指揮を執り、被害の拡大防止に努めて欲しいと話しています。

◆自衛消防力検定について詳しいことは、【03・3786・0119】荏原消防署予防課・自衛消防担当までお問い合わせください。

◎記事は、品川区・荏原第一のホームページにも掲載されています。

花めぐり

ミモザ

ミモザサラダをご存知ですか。ミモザの花に見立てて、ゆで卵の黄身を細かく刻んで散らしたサラダ。春っぽいですね。

ミモザは、春の初め頃、丸い鮮やかな黄色の花が群がって咲き、香りもあります。日本には、明治時代に入ってきて観賞用として親しまれています。

マメ科に属し、学名は二種あります。一つは「オジギソウ」として親しまれ、もう一つは「ギンヨウアカシア」です。これが、フランスでは「ミモザ」と呼ばれていて、日本で一般的に呼ばれているミモザのようです。

毎年近所で咲くのを楽しみにしています。

（小山台2丁目町会・木村　美智代）

荏原地区少年野球連盟が創立50周年の記念式典

荏原地区少年野球連盟の創立50周年を記念した式典が、2月11日にスクエア荏原で開催されました。

荏原地区の少年野球は昭和42年から始まり、品川区で最も古い歴史があります。

式典は、濱野区長や荏原地区少年野球連盟の石津忠雄理事長、加盟18チームの代表者などが出席し盛大に行われました。

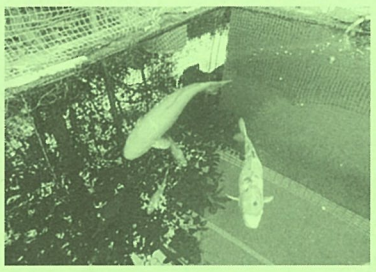
式典で石津理事長は「次代を担う子どもたちには様々なことを体験し、より野球が好きになってほしいと願っています。野球を通じて少年の健全育成を図るには、地域の皆様や関係団体、また行政との連携や協力も必要です。皆様方には引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます」と挨拶しました。

今回連盟では、50周年を記念した「記念誌」を発行し、半世紀に及ぶ歴史を、現役監督やOBのメッセージと共に掲載しています。ぜひご覧ください。（事務局）

創立50周年記念式典の様子

わが家のペット

～鯉～



私は魚を飼うのが趣味で、水を見ていると心が和みます。

池の大きさは、1.8メートル四方、深さ80センチのコンクリート製で、浄化槽が付いています。現在、池にいる魚は金魚が3匹。鯉が5匹。うち2匹は、この池で生まれた黒い鯉です。浄化槽にはメダカを入れてあります。

生まれた鯉は、見つけた時5ミリほどの針のような小ささで、池の淵にいました。黄色の鯉は、平成18年6月にネットで購入し、当時26センチだったのが、今は70センチくらいになりました。

鯉の世話は、浄化槽から池にポンプで水を送り、池との落差を利用し、浄化槽に出てくるパイプの先に網を取り付けて汚れを取り除いています。鯉には胃袋がないので餌をやり過ぎると消化不良を起こして死んでしまいます。

魚は餌やりと水の管理が大事です。

金魚等を水槽で飼う場合も浄化装置を付けて、水と餌の管理をすれば魚は死にません。ぜひ飼ってみてください。

（中原共和町会・飯泉　茂）

◎各ご家庭に配布しております。一部ずつお取り下さい。次号『まちかど』は４月２０日（木）発行の予定です。

「まちかど」は、品川区役所ホームページからもご覧いただけます。　http://www.city.shinagawa/tokyo.jp/

古紙を配合した紙を利用しています。